

9月議会総括審査

イージス・アショアの配備に関することと防災減災の県の対応を取り上げました。イージス・アショアの配備に関するところでは、知事の防衛に対する考え方、防衛大臣への折衝時期などを問いました。また、会派からも「ゼロベースでの再検討」よりも更に厳しい姿勢での意見書を提出し、議会として採択されました。防衛上必要なものだからこそ、防衛省との窓口を閉ざさずに住民の安全を最優先とし交渉していく必要性を訴えました。

防災減災については、昨今の異常気象により起きている日本中での災害対応を教訓に秋田県の防災マニュアルも常にアップデートをしていく必要性を問いました。例えば倒木が電線に引っかかった場合に除去するためには電力会社の社員でなければできない事となっています。しかし、予め協定を結んでおけば一定の条件で行政からの依頼で民間業者も撤去に当たることができ、迅速な対応が可能となります。県も電力会社と災害時にどのような協力関係を築けるかを協議していくという非常に前向きな答弁を得ることができました。

12月議会一般質問では以下の事項について質問をしました。
前向きな答弁をもらったものもあれば、構成が甘かったと反省しなければいけないものもあります。

子どもにやさしい秋田県に向けた取り組みについて	不登校の子どもへの対応について	児童虐待対策について
秋田県の子育て支援の取り組み状況と今後について 民間企業の協力も得ながら秋田県全体の子育て支援を進めていくとともに、子育て世代への効率的で分かりやすい情報提供に努める。	不登校の子どもの増加要因とその対応について 不登校の要因は、学業不振、心理的要因、家庭的要因、友人関係などがある。進学に伴い適応できずに悩み込むことも要因と考えている。個に応じた指導を充実させていく。	児童虐待にどう向き合っていくのか、また、虐待の根絶に向けて、具体的にどのように取り組んでいくのか 新複合化相談施設の整備に伴い、関連する福祉分野との連携により支援強化を検討していかたい。「児童虐待のないまちづくり」を県民と共に進めていく。
子ども達と共につくる秋田県にするために「参加する権利」の確保をしていくべきと考える これまで子どもの意見や提案に耳を傾け県政に反映してきたが、今後も子どもたちが社会について考え、発信する機会の充実と、参加する権利の確保に向けて取り組む。	専門的なスキルを持つスクールソーシャルワーカーの増員を進めるべきと考える 必要性は高まることが予想される。各校に効果的な活用の周知を図り、配置人数等についても検討していく。	
いじめ防止策について いじめの認知件数の増加要因と改善方法について 積極的に認知しようとする姿勢が各校に浸透してきた。組織としてきめ細かな対応ができるよう指導体制の改善に努めていく。	イージス・アショアの配備について 「県有地売却できない」との報道があったが真意は何か、また、新屋演習場以外の候補地が示された場合どのような姿勢で交渉に臨むのか 多くの県民が納得しないとの前提で、現時点で県有地の売却の議案を提出できる状況ではないということ。他の候補地が示された場合は、選定理由等説明を受け、周辺環境など勘査しながら分析、検討し意見を述べていく。粘り強く対応していくことが重要と考える。	12月議会総括審査 重度障害児者の支援について質問をしました。一度施設を見に来て欲しいと言われ訪問させてもらった事がきっかけで、重度障害者の支援の必要性を訴えました。今まであまりフォーカスされる事が少なかった問題であり、抱える課題は根深いものがあります。引き続き直接お話をお聞きし、全ての人が秋田に生まれて良かったと思ってくれるような秋田県にしていくために尽力していきます。 社会を少しずつでも変えていくために、皆様のお力をお貸しください。
いじめに関する相談体制を時代に合わせSNSの活用など整備していく必要があると考える 他県の先進的な取組を参考にSNSの活用した相談体制の構築を検討していく。		

自由民主党秋田県秋田市第十三支部

〒011-0942 秋田市土崎港東二丁目3-29
電話 018-846-3737 FAX 018-803-4976
Web <http://yasuhi10.com> Mail info@yasuhi10.com



発行／令和2年1月1日
ご質問、ご意見をお聞かせください。
編集／秋田県議会自由民主党会派 政務調査会
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号[県議会内]
電話 018-860-2040 FAX 860-2102